数と式

展開

- $\bullet (a+b+c)^2 =$
- $(a+b)^3 =$
- $(a b)^3 =$
- $\bullet (x+y)(x^2 xy + y^2) =$
- $(x-y)(x^2 + xy + y^2) =$

因数分解

- $\bullet a^2 + b^2 + c^2 + 2ab + 2bc + 2ca =$
- $\bullet x^3 + 3x^2y + 3xy^2 + y^3 =$
- $\bullet \ x^3 3x^2y + 3xy^2 y^3 =$
- $x^3 + y^3 =$
- $\bullet \ x^3 y^3 =$
- $x^3 + y^3 + z^3 3xyz =$

因数分解の手順 -

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.

- 例題

- 1. $3x^2 + 10x + 3 =$
- $2. \ x^2 + xy 2y^2 + 4x + 17y 21 =$
- 3. $a^2b + ab^2 + b^2c + bc^2 + c^2a + ca^2 + 2abc =$

絶対値

- 例題 -

- 1. $|\pi 4| =$
- 2. $|\sqrt{2} 1| + |\sqrt{2} 3| =$

分母の有利化

- 例題

1.
$$\frac{1}{\sqrt{5}-\sqrt{3}} =$$

二重根号

- 例題 -

1.
$$\sqrt{6-\sqrt{20}} =$$

2.
$$\sqrt{14 - 4\sqrt{10}} =$$

3.
$$\sqrt{2+\sqrt{3}} =$$

対象式

/ 例題

$$a = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}+1}, b = \frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}-1}$$

- 1. a + b
- 2. *ab*
- 3. $a^2 + b^2$
- 4. $a^3 + b^3$

一次不等式

- ポイント -

- 例題 -

- 1. x 5 > 3(7x 5)
- 2. $\frac{x+1}{2} \le \frac{2x+4}{3}$
- 3. =
- 4. =

絶対値を含む等式・不等式

- 例題 -

- 1. |5 x| = 2
- 2. |x-2| = 2x 7
- 3. |x-5| < 3
- 4. $|x-5| \ge 3$
- 5. $|2x 3| \ge 5x + 1$
- 6. |x-2| + |x+1| = x+3

二次関数

一般式 (2) グラフをかけ

•

•

- ポイント ――

最大最小

- 場合分けの仕方 (下に凸の場合) ------

• 最小値

● 最大値

解の個数の調べ方

•

解の種類

 $f(x) = ax^2 + bx + c = 0 \mathcal{O}\mathfrak{P}$

● 二つの正の解

● 二つの負の解

● 正の解と負の解

_

_

_

_

_

二次不等式

- 例題 -

1.
$$x^2 - 4x + 3 > 0$$

$$2. \ x^2 - 4x + 3 \le 0$$

3.
$$x^2 - 4x + 7 \le 0$$

4.
$$x^2 - 4x + 4 \ge 0$$

5.
$$x^2 - 4x + 4 > 0$$

$$6. \ x^2 - 4x + 4 < 0$$

7.
$$x^2 - 4x + 4 \le 0$$

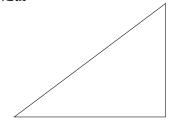
解と係数の関係

$$ax^2 + bx + c = 0$$
 の解を α, β とする

•

図形

定義



代表角

| 代表角 | | | | |
|-----|--|--|--|--|
| sin | | | | |
| cos | | | | |
| tan | | | | |

相互関係の公式

• •

補角

• $180 - \theta$ • $180 + \theta$ • $90 - \theta$ • $90 + \theta$ $-\sin(180-\theta)$ $-\sin(180 + \theta)$ $-\sin(90-\theta)$ $-\sin(90+\theta)$ $-\cos(180-\theta)$ $-\cos(180+\theta)$ $-\cos(90-\theta)$ $-\cos(90+\theta)$ $-\tan(180-\theta)$ $-\tan(180+\theta)$ $-\tan(90-\theta)$ $-\tan(90+\theta)$

正弦定理

lacktriangle

余弦定理

- •
- •

正弦定理と余弦定理の使い分け -

面積の求め方

•

データ

分散

lacktriangle

•

標準偏差

相関係数

Α

順列と組合せ

基本の計算

- 3 つの計算式 違い —

・約数の個数と展開式の項の個数と総和 -

- 1. 200 の正の約数の個数と総和を求めよ。
- 2. 360 の正の約数の個数と総和を求めよ。

文字の順列 a,b,c,d,e を 1 列に並べる -

- 1. a,b が隣り合う並べ方
- 2. a,b が両端にくる並べ方

数字の順列数字の順列 0,1,2,3,4 の 5 つの数字が 1 つずつある -

- 1.3 桁の整数
- 2.3 桁の暗証番号
- 3.3 桁の偶数
- 4. 3 桁の整数のうち、300 以上の整数

- 円順列とじゅず順列 -

- 8種類の球を用いて次の場合の数を求めよ。
 - 1. 円状に並べる方法
 - 2. じゅずを作るときの方法

・条件付き円順列 -

先生2人と生徒4人が円形のテーブルに座るとき、次の場合の数を求めよ。

- 1. すべての座り方
- 2. 先生 2 人が隣り合う座り方
- 3. 先生 2 人が向い合う座り方

重複を許す順列ー

- 1. a,b,c,d,e の5つの文字から、重複を許して3つの文字を一列に並べる並べ方
- 2. 0,1,2,2,4 の5つの数字から、重複を許して3桁の自然数を作る作り方

2つのグループに分ける —

- 9人を以下の方法で分ける場合の数を求めよ。
 - 1. A、B の 2 部屋に分ける方法(ただし、空室があってもよい)
 - 2. A、B の 2 グループに分ける方法
 - 3. 2つのグループに分ける方法

37

- 順列と組合せ -

a,b,c,d,e の5つの文字がそれぞれ1つずつあるとき、次の問いに答えよ。

- 1. 3つの文字を選び一列に並べるときの場合の数
- 2. 3つの文字を選ぶときの場合の数

図形と組合せ ―

- 1.5本の平行線と、それとは別の3本の平行線とが交わってできる平行四辺形の数
- 2. 正八角形について、頂点を結んでできる三角形の個数
- 3. 正八角形について、頂点を結んでできる対角線の本数

- 代表を選ぶ -

男子5人、女子4人から代表を3人選ぶ。このとき、次の場合の数を求めよ。

- 1. すべての選び方
- 2. 男子1人、女子2人となる選び方
- 3. 少なくとも女子1人を選ぶ選び方
- 4. 男子から3人、または女子から3人を選ぶ選び方

- 3つのグループに分ける –

9人を以下の方法で分ける場合の数を求めよ。

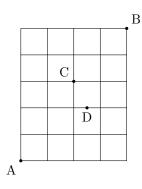
- 1. 3人ずつ A、B、C の 3 部屋に分ける
- 2. 3人ずつ3組に分ける
- 3. 4人、3人、2人に分ける

同じものを含む順列 ―

- 1. a,a,b,b,b,c,d の7つの文字を一列に並べる
- 2. a,a,b,b,c,d,e の7つの文字を一列に並べるとき、c,d,e がこの順になる

- 最短経路問題

- 1. A から B までの最短経路
- 2. A から B までの最短経路で C を必ず通る経路
- 3. A から B までの最短経路で D を通らない経路



重複組合せ -

- 1. 6本の同種類のペンを A、B、C の 3 つの袋に入れるとき、1 本も入らない袋があってよいとき、分け方は何通りあるか。
- 2. オレンジ、レモン、ライムがそれぞれ多数ある。これから 10 個をまとめてセットを作りたい。何通りのセットができるか。

等式を満たす整数 -

- 1. x + y + z = 10(x, y, z : 0 以上の整数) の時の組合せ
- 2. x + y + z = 10(x, y, z : 自然数) の時の組合せ

確率

確率の基本 -

コインを3枚同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1.2 枚だけ表である確率
- 2. 表が2枚以上である確率

さいころの確率 -

さいころを 2 個同時に投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1. 目の和が8となる確率
- 2. 目の和が 10 以下となる確率

・ボールを取り出す確率 —

赤玉5個と白玉7個が入った袋から同時に3個取り出すとき、次の確率を求めよ。

- 1. 白玉3個となる確率
- 2. 赤玉1個、白玉2個となる確率
- 3. 赤玉2個、白玉1個となる確率

一列に並べる確率 -

男子5人、女子4人が1列に並ぶとき、次の確率を求めよ。

- 1. 特定の男女が隣り合う
- 2. 女子が両端にいる
- 3. 男女が交互に並ぶ

- 円形に並べる確率 -

男子3人、女子3人が円卓にする座るとき、次の確率を求めよ。

- 1. 特定の 2 人が隣り合う
- 2. 特定の 2 人が向い合う
- 3. 男女が交互に座る

・和事象と排反事象 -

1~50までの数字が書かれたカードから、1枚取り出すとき、次の確率を求めよ。

- 1. 2の倍数または一の位が3である2桁の数
- 2. 2の倍数または3の倍数

- 余事象の確率 —

- 1. 赤玉5個と白玉7個が入った袋から同時に3個取り出すとき、少なくとも赤玉1個を取り出す確率を求めよ。
- 2. さいころを2個同時に投げるとき、目の和が3の倍数でない確率を求めよ。

- 独立試行の確率 -

A の袋には赤玉 3 個と白玉 2 個が、B の袋には赤玉 2 個と白玉 4 個が入っている。A からは 1 個、B からは 2 個の玉を取り出すとき、取り出した玉の色がすべて赤となる確率を求めよ。

- 反復試行の確率 (コイン) -

1枚のコインを5回連続して投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1. 表がちょうど4回出る
- 2. 表がちょうど3回出る

- 反復試行の確率 (さいころ) —

1個のさいころを5回連続して投げるとき、次の確率を求めよ。

- 1. 3 の倍数の目が 2 回だけ出る
- 2. 3の倍数の目が3回だけ出る
- 3. 少なくとも1回3の倍数の目が出る

勝先取の確率 -

 $A \ B \$ が試合をし、先に $3 \$ 勝した方が優勝とする。 $A \$ が勝つ確率が $\frac{3}{4} \$ のとき、 $A \$ が優勝する確率を求めよ。

- 点が動く確率 ----

数直線上に点 P が原点にあり、さいころを投げて 5 以上の目が出ると正の方向に 2 進み、それ以外が出ると負の方向に 1 進む。さいころを 3 回投げたとき点 P が次の位置にある確率を求めよ。

- 1. 原点の位置にある
- 2. 座標 3 の位置にある

- 条件付き確率 --

ある学校で数学が好きな生徒は 40% で、英語が好きな生徒は 60% で、両方好きな生徒は 30% である。

- 1. ある生徒が数学を好きとわかっていて、その生徒が英語も好きな確率
- 2. ある生徒が英語を好きとわかっていて、その生徒が数学も好きな確率

- 確率の乗法定理 –

10 本中当たりが 3 本入ったくじがある。このくじをAが 1 本引き、引いたくじを元に戻さずに続けてBが引いた。このとき、AとBのそれぞれが当たる確率を求めよ。

図形

内分と外分

- 例題 -

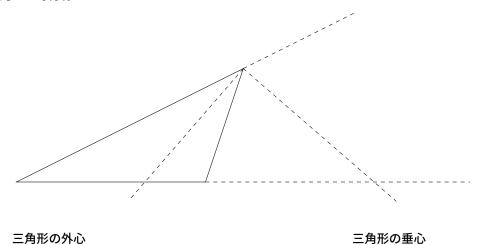
1. 線分 AB を 3 : 1 で内分する点 P

2. 線分 AB を 2:1 で外分する点 Q

3. 線分 AB を 1:3 で外分する点 R

A B

角の二等分線



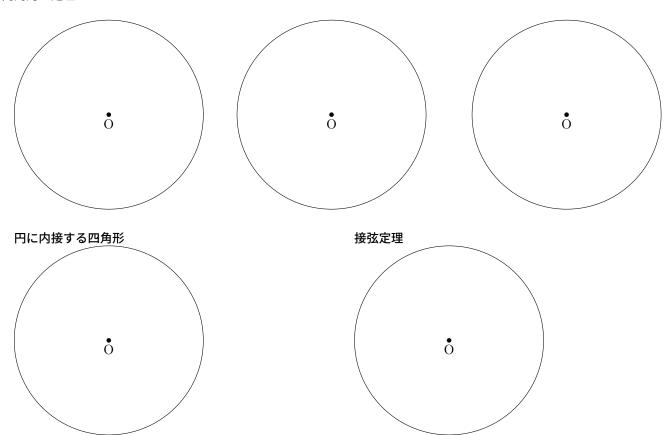
三角形の内心

三角形の重心

チェバの定理

メネラウスの定理

円周角の定理



方べきの定理

• 接線でない場合

• 接線の場合

円と接線の関係

二つの円と共通接線の本数 (5)

整数

倍数判定法

● 2 の倍数

• 3 の倍数

● 4 の倍数

● 5 の倍数

● 8 の倍数

● 9 の倍数

最小公倍数と最大公約数

- 例題 1 —

1. (a) 75, 105

(b) 42, 78, 273

2. 2つの自然数の最大公約数が 6、最小公倍数が 420 であるとき、この 2 つの自然数の組をすべて答えよ。

ユーグリッドの互除法

例題 最大公約数を求める -

- 1. 407,77
- 2. 336, 180

不定方程式

- 例題 -

- 1. 5x + 2y = 0
- 2. 5x + 2y = 1
- 3. 5x + 2y = 2
- 4. 44x + 35y = 1
- 5. 44x + 35y = 3

n 進法

例題

- 1. $11010_{(2)}$
- $2.2121_{(3)}$
- $3. 3A_{(16)}$

- 4. 38[2]
- 5. 439[5]
- 6. 91[16]

例題 (小数) -

- $1. \ 0.101_{(2)}$
- 2. $11.231_{(5)}$

- 3. 0.625[2]
- 4. 6.728[5]

合同式

定義 $a \equiv b \pmod{m}$

- 例題 —

- 1. 15 の 50 乗を 7 でわったあまりを求めろ
- $2. x + 4 \equiv 2 \pmod{6}$
- 3. $3x \equiv 4 \pmod{5}$
- 4. 472011 の一の位